

# 岩手県立大学 2024(R6)年度 新入生アンケート

集計結果報告書（抜粋）

2024（R6）年6月

## 目次

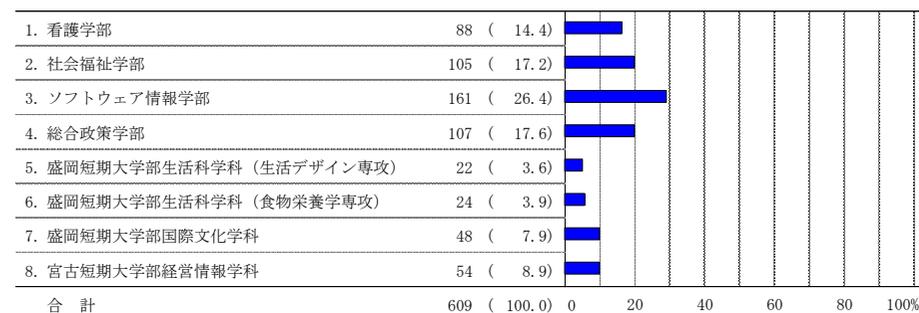
1. 調査の概要	1
○1. 学部・学科	1
○2. 性別	1
2. 調査結果の要約	2

## 1. 調査の概要

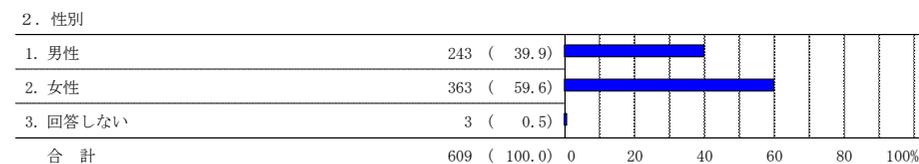
①実施時期	令和6年4月
②実施方法	紙媒体での配布・回収
③実施対象者数	624人
④回答者数・回答率	609件（回答率97.6%）

### ⑤回答者内訳

#### ○1. 学部・学科



#### ○2. 性別



## 2. 調査結果の要約

### 〇3. 現在の住居

全体として住居形態で割合が高いのは一人暮らし 49.8%、家族と同居 45.5%となっている。

一人暮らしの割合が最も高いのはソフトウェア情報学部 62.7%、次いで社会福祉学部 59.0%となっている。

### 〇4. 出身地及び居住地

全体として出身地は、岩手県内が 66.5%、青森県 7.1%、秋田県 5.6%、宮城県 4.6%と続き、東北 6 県の出身者が 90.3%を占めている。

居住地は全体としては盛岡市が 44.7%、次いで滝沢市が 28.2%を占めている。

### 問 1 大学に進学することを決めた時期

新入学者が大学進学を決めた時期については、「高校 1 年生」までに決めた割合が 64.0%となっている。

### 問 2 大学進学を考えた理由として重視した項目(3 項目以内を選択)

新入学者が大学進学を考えた理由について、全体として 30%以上の項目は高い順に「専門的知識や技術を修得したいから」45.2%が最も高く、次いで「就職に有利だと思うから」36.8%、「就職に必要な勉強をしたいから」31.0%となっている。

### 問 3 本学の志望順位

「本学はどの程度の志望順位でしたか。」との設問に対して、全体としては「第一志望だった」63.9%、「第二志望だった」25.9%、「第三志望だった」9.2%となっている。

### 問 4 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「大学入学共通テストの後」26.8%が最も高く、次いで「高校 2 年」18.6%、「高校 3 年の夏」14.0%、「高校 3 年の春」13.1%と続いている。

### 問 5 本学に関する情報に触れた事象や機会(複数回答)

「本学に関する情報に、触れたことがあるものはどれですか。」という設問に対して、全体として 30%を超える項目は、「本学のウェブサイト」84.6%、次いで「本学の入学案内」34.6%、「通っていた高校」32.0%、「本学の SNS」31.0%となっている。

### 問 6 本学の入試等に関する情報を入手した事象や機会(複数回答)

新入学者が本学に関する情報に入手した方法について、全体としては「本学のウェブサイト」が最も高く 60.1%、次いで「本学の入学案内を読んだ」57.6%、「オープンキャンパスに参加した」35.0%、「インターネットの進学情報サイトを見た」32.2%、同率で「高校の先生からアドバイスを受けた」が 3 割以上となっている。

### 問 7 本学のウェブサイトの閲覧状況と理解度

本学のウェブサイトを閲覧したことのある学生の割合は全体として 96.5%(100-「見たことがない」-「無回答」)。回答者の 91.5%が大学について「大変良く理解できた」(24.5%)、「概ね理解できた」(67.0%)と回答している。

### 問 8 ウェブサイトの閲覧によく使うツール

「あなたが通常、ウェブサイトの閲覧によく使うツールは何ですか」という設問について、全体としては「主にスマホを使用」が 84.4%で圧倒的に高い割合となっている。

### 問 9 本学の入学案内の閲覧状況と理解度

本学の入学案内を見たことがある学生は全体として 96.4%(100-「見たことがない」-「無回答」)。回答者の学生の 93.3%が大学について「大変よく理解できた」(27.3%)、「概ね理解できた」(66.0%)と回答している。

### 問 10 参加した行事等と本学受験との関連

本学で実施している行事と本学受験への影響度について、「受験決定の大きな要因」+「受験決定の要因の一つ」を合算してみると「オープンキャンパス」30.5%が最も影響度が高く、次いで「大学見学」21.5%、「大学説明会」17.2%、「出張講義又は出前講義(高校で実施)」13.8%と続いている。

### 問 11 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)と受験決定の関係

「ウェブサイトや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか。」という設問に対して、全体として「受験決定の大きな要因となった」16.4%、「受験決定の要因の一つとなった」52.4%と回答しており、この 2 項目を合わせた割合は 68.8%となっている。

### 問 12 本学を選んだ理由と受験を決める一般的な理由

#### 【本学を選んだ理由】

本学を選んだ理由 26 項目について、進学や受験のときに本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、上位 10 項目は、割合が高い順に、「公立(県立)大学である」76.4%、次いで「学びたい分野がある」69.0%、「資格が取得できる」51.1%、「岩手で学びたい」43.7%、「就職先や就職率(就職に有利)」38.6%、「教育課程や授業構成内容」35.0%、「自分の能力に適していた」33.3%、「入学金・授業料などの適切性」32.5%、「学校推薦型選抜制度がある」31.2%、「大学説明会、オープンキャンパス等の内容や雰囲気」30.5%となっている。

#### 【一般的な受験大学選択の理由】

問 12 では受験大学を決める一般的な理由も併せて聞いており、上記と同様の 26 項目について、「とても重要」という積極的な肯定回答だけみていくと、上位 10 項目は、割合が高い順に、「学びたい分野がある」76.4%、次いで「公立(県立)大学である」69.1%、「資格が取得できる」59.6%、「就職先や就職率(就職に有利)」58.3%、「自分の能力に適していた」51.6%、「入学金・授業料などの適切性」50.1%、「教育課程や授業構成内容」47.6%、「通学時間や通学ルート」44.8%、「校舎、キャンパス等のイメージ」43.5%、「大学全体としてのブランドやイメージ」42.2%となっており、一般的な受験大学の選択理由と実際の選択理由の差異が伺える。

### 問 13 入学した自身の選抜区分

新入学者の入学した選抜区分について、全体としては、「一般選抜(前期)又は短大一般選抜」46.6%、「一般選抜(中期又は後期)」10.7%で合わせて 57.3%、「学校推薦型選抜」33.5%、「総合型選抜」4.8%となっている。

### 問 14 筆記試験問題の解答時間の適切性

筆記試験問題の解答時間の適切性については、全体として 60.1%が「適切だった」と回答している。

#### 問 15 面接での質問内容の適切性

面接での質問内容の適切性について、面接を受けた学生 339 人(合計-「4.面接は受けなかった」-「5.無回答」)を母数とすると 93.2%(316 人)が「適切だと思った」と回答している。

#### 問 16 試験のときの教職員対応の適切性

試験のときの教職員の対応について、「無回答」20 人を除いた 589 人でみると、「どちらともいえない」17 人、「適切でないと思った」1人を除いて、571 人(有効回答者の 96.9%)が「適切だった」と回答している。

#### 問 18 卒業後の進路についての考え

「卒業後の進路についてどのように考えていますか」という設問について、全体としては「学びの専門性を活かせる就職」が 58.6%、「大学院への進学(または学部への編入学)」15.4%、「学びの専門性にこだわらない就職」11.5%となっている。

一方、「特に考えていない」という回答は 7.9%となっている。

#### 問 18-2 就職を希望する場合の希望職業

就職を希望する場合の希望職業について、全体としては「公務員」が 36.1%、「企業等」が 35.4%となっている。尚、「未定」との回答は 21.1%であった。

#### 問 18-3 就職を希望する場合の希望勤務地

就職を希望する場合の希望勤務地について、全体としては「岩手県内」34.7%、「東北(岩手県を除く)」29.0%となっている。

#### 問 19 本学と本学の学生に関するイメージ【本学に関するイメージ】

学生が感じる本学のイメージに関して、全体として最も高いのは「学部・学科が充実している」51.6%、次いで「地域社会・文化に貢献している」43.0%、「就職状況が良い」39.7%、「在学中の資格取得に積極的である」37.4%、「地域産業に貢献している」35.3%、「教育機関としてのビジョンがある」32.0%である。(30%以上の項目)

#### 問 19 本学と本学の学生に関するイメージ【学生に関するイメージ】

学生が感じる本学の学生に関するイメージについて、全体として概ね 30%以上の学生が選択した事象は「勉強、研究に熱心である」35.6%、「コミュニケーション能力が高い」29.9%、「礼儀正しい」28.7%となっている。